

人権教育啓発標語入選作品

西小学校

「大丈夫。」 人を救える まほうの言葉  
 いじめは自分もきずつける  
 「やめようよ」 いじめをなくす いい言葉

最優秀賞 四年 高橋 たかはし  
 優秀賞 五年 橋本 はしもと  
 優秀賞 六年 塩田 しおだ  
 美結 みゆう  
 晟那 せな  
 桃菜 ももな

東小学校

認め合う それは心を 開くカギ  
 つらい時 やさしい言葉 ありがとう  
 教えてよ 心のきずと そのいたさ

最優秀賞 五年 小島 こじま  
 優秀賞 三年 石川 いしかわ  
 優秀賞 四年 柳橋 やなぎはし  
 悠佳 ゆうか  
 遼介 りょうすけ  
 定門 ていと

人権教育啓発ポスター入選作品

《中学生の部》



千代田中学校3年 山本 やまもと 彩詠 あやみ  
 (最優秀賞)



人にやさしいまちづくり

# 千代田町

令和元年度 人権教育啓発資料



千代田町人権教育推進協議会  
 千代田町教育委員会

## 人権教育啓発作文入選作品

最近ひんぱんに聞く良くないニュースに幼児虐待や連れ去りの言葉を耳にします。家族でワイワイしている時でも幼児虐待のニュースを聞くと、一瞬にしてその場に悲しい空気が流れま  
す。そんな時、母はいつも「どうにかして助ける事は出来な  
ったのだろうか。」と目に涙を浮かべます。  
私は小学生の頃、父の仕事の都合でアメリカに住んでいま  
した。アメリカでは子どもの人権のための法律がたくさんありま  
す。一番身近に感じたのは、親子で車で出かけてコンビニなど  
に立ち寄る際に、子どもを一人で車に置き去りにすると周囲の  
人にすぐに通報されます。そして母親は警察に逮捕されます。大  
人みんなで子どもを守ろうとします。  
そしてもう一つ体験したことがあります。家族と車で高速道  
路を走っていた時の事です。家族全員の携帯電話の緊急アラ  
ームが鳴りました。アメリカに住み始めたばかりの頃の私は、地  
震速報かと携帯電話を見ると、車と車種とナンバーが表示され

ていました。そして周りを見渡すと、高速道路の電光掲示板に同  
様の表示が出ていて、その他テレビやラジオで放送されていま  
した。アメリカ国民みんなであらゆる手を使って、子どもを救出す  
るといふ文化に感心しました。  
日本とアメリカでは、「子どもの人権」に対する考え方に違い  
があります。アメリカでは「子どもの人権」がすべてにおいて優  
先されます。私が強く感じた事は、「子どもの人権」に対して、  
近所、学校、地域が見て見ぬフリをしないということです。異変  
が起きた場合、声をかける人々、子どもの人権が損なわれた時に  
対応する行動力。これらを当たり前の様にアメリカ人は実行して  
います。もしかししたら、アメリカでは過去の失敗や犯罪から得た  
知識で、今の様な仕組みが出来ているのかもしれない。そこま  
でしないと「子どもの人権」が守れなかったのかもしれない。  
日本では、そこまでしなくても「子どもの人権」が守れていたの  
かもしれないが、最近ひんぱんに聞く幼児虐待のニュースを耳  
にすると、日本でもアメリカの様な、日本人の感覚ではやりすぎ  
と感じてしまう「子どもの人権」を守るシステムが今は必要な国  
になってしまったのかもしれない。

### (最優秀賞) 子どもの人権と国民性

千代田中学校1年 成塚 みなみ

## 人権教育啓発ポスター入選作品

### 《小学生の部》



西小学校3年 飯田 愛純  
(最優秀賞)

## 人権教育啓発ポスター入選作品

### 《小学生の部》



東小学校6年 尾島 凛  
(最優秀賞)

見つめよう わたしの人権

考えよう あなたの人権

